

吹き流し班

班員：廣野,福本,牧野,山口

目的

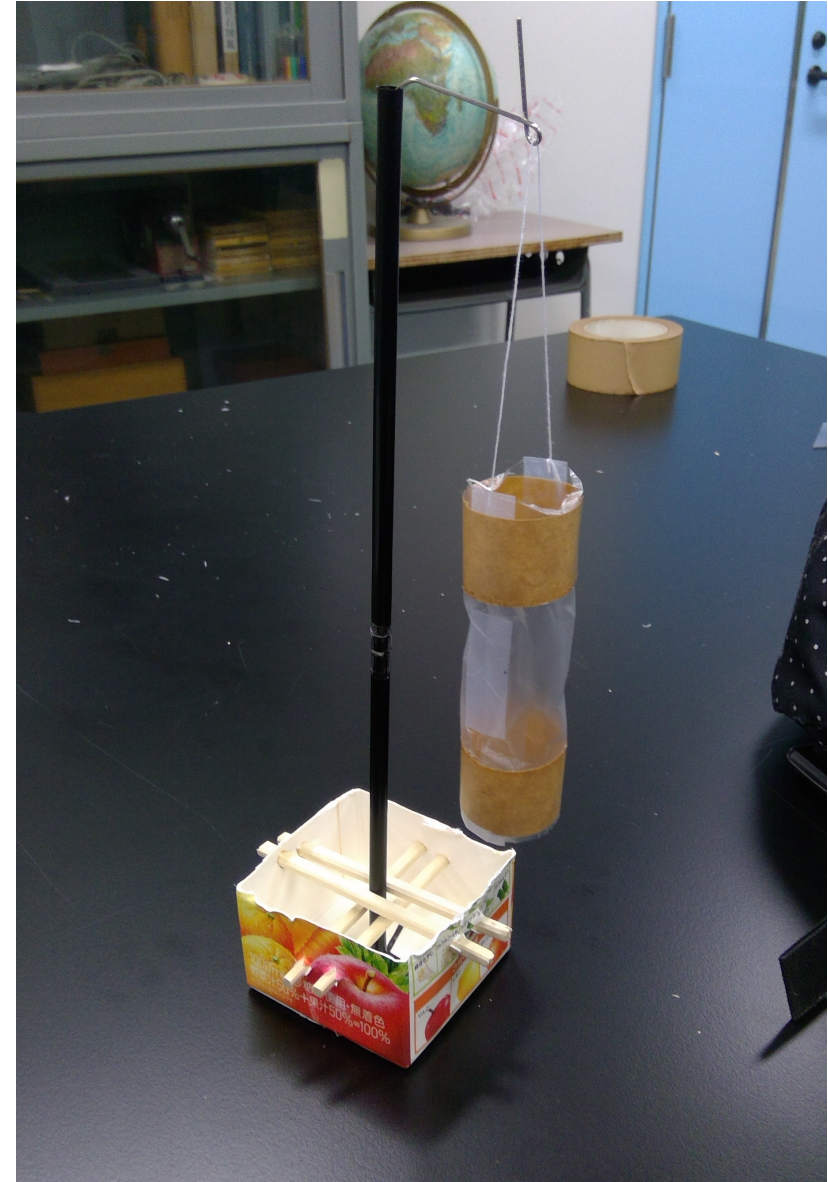
- ・ 風向、風速を測る

目標

- ・ 簡単に測定できる
- ・ 耐久性を持たせる

材料

- 牛乳パック(底部分)
- ビニール袋
- ストロー 2本
- 割りばし 二膳
- 紐
- クリップ
- セロハンテープ
- ガムテープ



作り方

《土台部分》

- 1.牛乳パックの底部分を高さ5cmで切る。
- 2.折れ曲がるストロー二本の屈折部より上を切り取り、それを2本用意する。
- 3.割りばし1本を半分に切り、2で用意したストローのお互いの穴に通しテープで結合させる。
- 4.3で出来た結合ストローの片端を2.5cmの長さで十字に切る。
- 5.4で出来た結合ストローを1に固定する。
- 6.別の割りばしを2本、半分に切る。

7. 牛乳パックの底部分の2面の中部に2つずつ、もう2面の上部に2つずつ穴をあける。
8. その穴に7で切った割りばしを差し込みストローを固定する。

《吹き流し部分》

1. クリップをペンチでまげる
2. 紐を20cmにきり取る
3. ビニール片を1cm重ねさせてビニールテープで3か所固定する。両端は挟むように固定する。
4. りょうはしを固定したテープにカッターで5mmほど切れ目をいれる。
5. その切れ目のそれぞれに、紐を片方ずつ差し込みかたむすびをする。

6. ガムテープを10cmに切り、それを縦半分に切る。

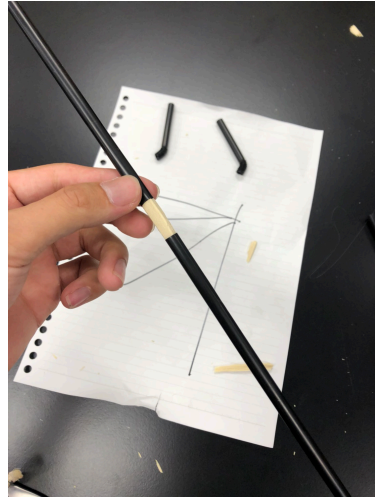
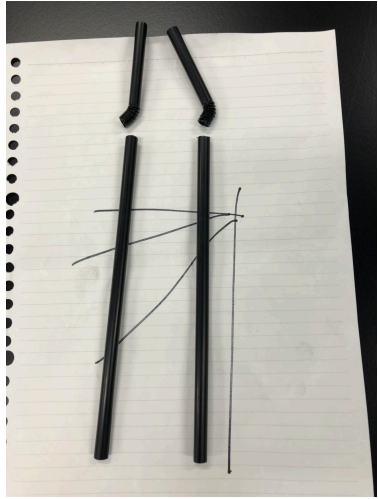
7. 2つにしたガムテープをビニール片の上下に巻き付けるように張り付ける。

※ガムテープは普通のガムテープを縦に二等分する。

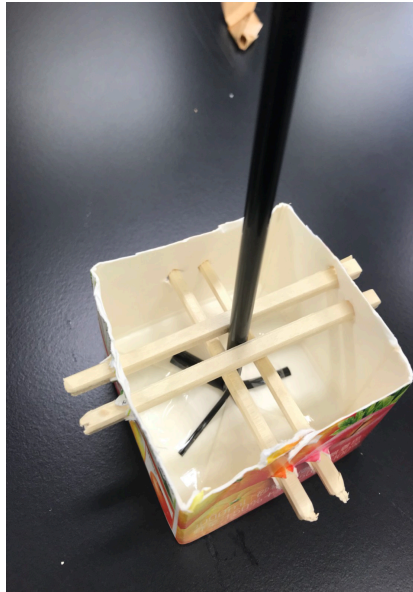
8. 紐をクリップに引っ掛ける。

資料写真(1)

《長ストロー作り方》

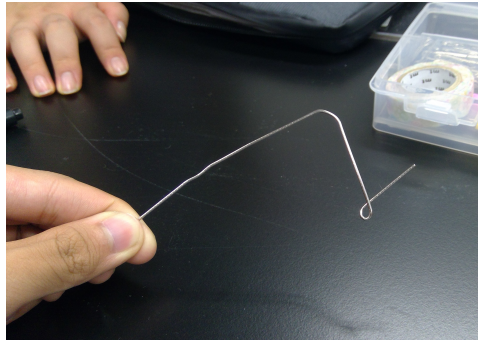


《土台部分完成図》



資料写真(2)

《クリップ・ビニール部分》



観測方法

風向

○方位磁石を持ちクリップと反対側の方角を記録する
→八方位を書いた紙を装置の下に引く方法を推奨する。

風速(必要であれば紙を用意)

○±5度ほど考えて

- ・ 25度→1 m/s
- ・ 45度→2 m/s
- ・ 80度→3 m/s

○クリップの向きに対して、できる限り平行に観測する。